	ディプロマ・ポリシー				
			問題に関する専門的・学際的理解	課題の設定と分析・解決法の立案	多様な人々との協働性と応用実践
		学問	1 各領域の高度な専門的知識・能 力と幅広い学際的な高度な知識を身	2. 人間と社会に関する最先端の諸問題について、自ら課題を発見・設定	3. 地域および現代社会における諸問題について、多様な人々と協働して問
		学研究	につけ、人間と社会に関する問題を	し、その解決に向けて、自ら仮説を構	題解決にあたる柔軟性を身につけ、
		究性会科科	深く理解することができる。	築し、検証することができる。	新たな価値の創出に向かうことができる。
		¹⁴ 科			
		社	1. 人間と社会に関する各領域の高度な専門的知識・理論・研究方法と	2. 人間と社会に関して、主体的に課題を設定し、その解決に向けて、最	3. 地域および現代社会における諸問題について、専門的知識・研究成果を
		会創	幅広い学際的知見を身につけ、人間	先端の知にアクセスしつつ必要な情	様々な場面で運用しながら、その解
		타	と社会に関する問題を深く理解することができる。		決策を多様な人々に的確に表現し、
		専	とができる。	ることができる。	協働しつつ主体的に行動することで、 多様性が尊重される共生社会の創成
		攻			を先導できる。
			1. 言語・文化・歴史・社会・福祉に関する諸領域の理論および研究方法に	3. 既存の言説を批判的に検討する ことによって、独自の研究課題を発見	6. 地域社会の諸課題に、専門的な 視点から主体的にとりくむことができ
			ついて、高度な専門的知識を身につ	し設定することができる。	る。
			けている。	4. 人間と社会に関わる諸問題を解決するために、最先端の知にアクセ	7. 身につけた専門知識や技能を多
		人	2. 専門知識、および、人間と社会に 関する幅広い学際的知見に基づい	スし、情報を的確に分析し、論理的に	様な人々が共生する社会の実現のために役立てようとする主体性、責任
		文	て、個別の事象を理解することができ	結論を導くことができる。	感、行動力を備える。
		社	る。	5. 異文化や過去への関心を持ち、 自文化を相対化して、新たな価値を	8. 自らの考えを、文章や口頭で、多様な人々に対して、論理的・説得的に
		会コ		創造することができる。	表現できる。
		Ī			9. 身につけた専門技能に基づき多様な人々に対して適切な提言を行うこ
		ス			とができる。
					10. 多様な人々と円滑に交流・協働 しつつ、自らの専門性を様々な場面で
					運用することにより、地域および現代
科目区分	科目名				社会の諸問題の解決を先導できる。
研究科					_
共通科 目	人間社会科学特論		©	0	0
	インターディシプリナ!	J—·⊐			
コース	ミュニケーション・セッ	ション・・	0	0	©
間連携	п				
科目	他専攻・他コースの専	門科目	©		0
社会実	(#1 E & 45 E)			_	
践科目	(科目名省略)			0	0
コース 基盤科	人文社会基礎論		©	©	0
基盤件	八人仁云坐從뻬				Ŭ
	日本文学特殊講義IA		©	0	
	日本文学特殊講義I	В	0	0	
	日本文学特殊講義ⅡA		©	0	
	日本文学特殊講義IIB		©	0	
	日本文学特殊講義Ⅲ	A	©	0	
	日本文学特殊講義ⅢB		©	0	
	日本文学特別演習 I A		©	©	0
	日本文学特別演習 I	В	©	©	0
	日本文学特別演習IIA		©	©	
				©	
	日本文学特別演習IIB		6		
	日本文学特別演習Ⅲ		0	0	
	日本文学特別演習ⅢB		©	©	
	日本語学特殊講義IA		©	0	
コース	日本語学特殊講義 I B		0	0	
専門科 目	日本語学特殊講義ⅡA		0	0	
_	日本語学特殊講義IIB		©	0	
					©
	日本語学特別演習IA		0	0	
	日本語学特別演習IB		0	0	0
	日本語学特別演習ⅡA		0	0	0
	日本語学特別演習IIB		0	©	0
	中国文学特殊講義IA		©	0	
	中国文学特殊講義IB		©	0	
					0
	中国文学特殊講義ⅡA				
	中国文学特殊講義ⅡB		©		0
	中国文学特別演習A		0	0	
	中国文学特別演習B		0	©	
	中国語学特別演習A		©	0	0
	中国語学特別演習B		©	0	0

		学研究科 社会創成専攻 人文社会コース	問題に関する専門的・学際的理解 1. 各領域の高度な専門的知識・能力と幅広い学際的な高度な東門的知識・能力と幅大人間と社会に関する問題を深く理解することができる。 1. 人間と社会に関する各領域の高度な専門的知識・理論・研究方法と幅広い学際的知見を身につけ、人間と社会に関する問題を深く理解することができる。 1. 言語・文化・歴史・社会・福祉に関する諸領域の理論および研究方法について、高度な専門的知識を身につけている。 2. 専門知識、および、人間と社会に関する幅広い学際的知見に基づいて、個別の事象を理解することができる。	し設定することができる。 4. 人間と社会に関わる諸問題を解 決するために、最先端の知にアクセ	多様な人々との協働性と応用実践 3. 地域および現代社会における諸問題について、多様な人々と協働して問題解決にあたる柔軟性を身につけ、新たな価値の創出に向かうことができる。 3. 地域および現代社会における諸問題について、専門的知識・研究成果を様々な場面で運用しながら、その解決策を多様な人々に的確に表現し、協働しつシーをができる。 6. 地域社会の諸課題に、専門的な視点から主体的にとりくむことができる。 6. 地域社会の諸課題に、専門的な視点から主体的にとりくむことができる。 7. 身につけた専門知識や技能を多様な人々が共生する社会の実現のたのに役立てようとする主体性、責任感、行動力を備える。 8. 自らの考えを、文章や口頭で、多様な人々に対して、論理的、説得のに表現して、論理が、のに表現して、多様な人々に対して適切な提言を行うことができる。 9. 身につけた専門技能に基づき多様な人々に対して適切な提言を行うことができる。
科目区分	科目名				しつつ、自らの専門性を様々な場面で 運用することにより、地域および現代 社会の諸問題の解決を先導できる。
	イギリス文学特殊講	- 養Α	©	0	0
	イギリス文学特殊講	義B	©	0	0
	アメリカ文学特殊講義	ĒΑ	©	0	
	アメリカ文学特殊講義	ĒΒ	©	0	
	アメリカ文化特殊講義A		©		0
	アメリカ文化特殊講義B		0	0	0
	英語学特殊講義IA		0	0	
	英語学特殊講義IB		0	0	
	英語学特殊講義 II A		© ©	0	
	英語学特殊講義 II B イギリス文学特別演習A		0	©	0
	イギリス文学特別演習B		0	 ©	0
	アメリカ文学特別演習A		©	0	
	アメリカ文学特別演習B		0	0	0
コース	アメリカ文化特別演習A		©	0	
専門科 目	アメリカ文化特別演習B		0	0	0
	英語学特別演習A			©	0
	英語学特別演習B	έΛ		0	0
	フランス文化特殊講家フランス文化特殊講家		© ©	© ©	
	フランス文化特別演習		©	0	0
	フランス文化特別演習		©	0	0
	ドイツ文化特殊講義A		©	©	0
	ドイツ文化特殊講義B		0	0	0
	ドイツ文化特別演習A		©	0	0
	ドイツ文化特別演習B		0	0	0
	哲学特殊講義IA		0	0	0
	哲学特殊講義IB		0	© @	0
	哲学特殊講義ⅡA 哲学特殊講義ⅡB		© ©	© ©	0
	哲学特殊講義 II B 哲学特別演習 I A		0	©	© ©
	哲学特別演習IB		0	<u> </u>	©
	哲学特別演習ⅡA		0	©	0
	哲学特別演習ⅡB		0	©	©

	ディプロマ・ポリシー				
		学研究科	問題に関する専門的・学際的理解 1.各領域の高度な専門的知識・能 力と幅広い学際的な高度な知識を身 につけ、人間と社会に関する問題を 深く理解することができる。	課題の設定と分析・解決法の立案 2. 人間と社会、に関する最先端の諸 問題について、自ら課題を発見・設定 し、その解決に向けて、自ら仮説を構 築し、検証することができる。	多様な人々との協働性と応用実践 3. 地域および現代社会における諸問題について、多様な人々と協働して問題解決にあたる柔軟性を身につけ、新たな価値の創出に向かうことができる。
		社会創成専攻	1. 人間と社会に関する各領域の高度な専門的知識・理論・研究方法と 幅広い学際的知見を身につけ、人間 と社会に関する問題を深く理解するこ とができる。	2. 人間と社会に関して、主体的に課題を設定し、その解決に向けて、最先端の知にアクセスしつつ必要な情報を収集し、専門的な方法で分析することができる。	3. 地域および現代社会における諸問題について、専門的知識・研究成果を様々な場面で運用しながら、その解決策を身様な人々に的確に表現し、協働しつつ主体的に行動することで、多様性が尊重される共生社会の創成を先導できる。
科目区分	科目名	人文社会コース	1. 言語・文化・歴史・社会・福祉に関する諸領域の理論および研究方法について、高度な専門的知識を身につけている。 2. 専門知識、および、人間と社会に関する幅広い学際的知見に基づいて、個別の事象を理解することができる。	3. 既存の言説を批判的に検討することによって、独自の研究課題を発見し設定することができる。 4. 人間と社会に関わる諸問題を解決するために、最先端の知にアクセスし、情報を的確に分析し、論理的に結論を導くことができる。 5. 異文化や過去への関心を持ち、自文化を相対化して、新たな価値を創造することができる。	6. 地域社会の諸課題に、専門的な 視点から主体的にとりくむことができ る。 7. 身につけた専門知識や技能を多 様な人々が共生する社会の実現のた めに役立てようとする主体性、責任 感、行動力を備える。 8. 自らの考えを、文章や口頭で、多 様な人々に対して、論理的・説得的に 表現できる。 9. 身につけた専門技能に基づき多 様な人々に対して適切な提言を行うことができる。 10. 多様な人々と円滑に交流・協働 しつつ、自らの専門性を様々な場面で 運用することにより、地域および現代 社会の諸問題の解決を先導できる。
	文化交流論特殊講義	ΙA	©	0	0
	文化交流論特殊講義	IB	0	0	0
	文化交流論特殊講義	IΑ	©	0	0
	文化交流論特殊講義	IВ	©	0	0
	文化交流論特別演習	ľΙΑ	0	©	0
	文化交流論特別演習	ľΙΒ	0	©	0
	文化交流論特別演習ⅡA		0	©	0
	文化交流論特別演習ⅡB		0	©	0
	社会学特殊講義A		©	0	
	社会学特殊講義B		0	0	
	社会学特殊講義C		0	0	
	社会学特別演習 I A		0	©	0
	社会学特別演習 I B		0	©	0
	社会学特別演習ⅡA		0	©	0
	社会学特別演習ⅡB		0	©	0
	社会学特別演習ⅢA		0	©	0
- ^	社会学特別演習ⅢB		0	©	0
専門科 目	地理学特殊講義 I		0	0	0
	地理学特殊講義ⅡA		0	0	0
	地理学特殊講義 Ⅱ B		0	0	0
	地理学特殊講義ⅢA		0	0	0
	地理学特殊講義ⅢB		0	0	0
	地理学特別演習A		0	©	0
	地理学特別演習B		0	©	0
	地理情報システム特別		0		0
	文化人類学特殊講義		© -		
	文化人類学特殊講義IB		©		
	文化人類学特別演習A		0	0	0
	文化人類学特別演習	iB	0	0	©
	考古学特殊講義 I		0		
	考古学特殊講義Ⅱ		0		
	考古学特殊講義Ⅲ		0		
	考古学特殊講義Ⅳ		©		
	考古学特別実習				©
	考古学特別演習 I		0	<u> </u>	0
	考古学特別演習Ⅱ		0	<u> </u>	0
	考古学特別演習Ⅲ		0	0	0
	考古学特別演習Ⅳ		0	©	0

			ナイノロマ・ホリンー				
		学研究科	問題に関する専門的・学際的理解 1.各領域の高度な専門的知識・能 力と幅広い学際的な高度な知識を身 につけ、人間と社会に関する問題を 深く理解することができる。	課題の設定と分析・解決法の立案 2. 人間と社会に関する最先端の諸 問題について、自ら課題を発見・設定 し、その解決に向けて、自ら仮説を構 築し、検証することができる。	多様な人々との協働性と応用実践 3. 地域および現代社会における諸問 題について、多様な人々と協働して問 題解決にあたる柔軟性を身につけ、 新たな価値の創出に向かうことができ る。		
		社会創成専攻	1. 人間と社会に関する各領域の高度な専門的知識・理論・研究方法と幅広い学際的知見を身につけ、人間と社会に関する問題を深く理解することができる。	2. 人間と社会に関して、主体的に課題を設定し、その解決に向けて、最先端の知にアクセスしつつ必要な情報を収集し、専門的な方法で分析することができる。	3. 地域および現代社会における諸問題について、専門的知識・研究成果を様々な場面で運用しながら、その解決策を多様な人々に的確に表現し、協働しつつ主体的に行動することで、多様性が尊重される共生社会の創成		
		文社会コ	1. 言語・文化・歴史・社会・福祉に関する諸領域の理論および研究方法について、高度な専門的知識を身につけている。 2. 専門知識、および、人間と社会に関する幅広い学際的知見に基づいて、個別の事象を理解することができる。	3. 既存の言説を批判的に検討することによって、独自の研究課題を発見し設定することができる。 4. 人間と社会に関わる諸問題を解決するために、最先端の知にアクセスし、情報を的確に分析し、論理的に結論を導くことができる。 5. 異文化や過去への関心を持ち、自文化を相対化して、新たな価値を創造することができる。	を先導できる。 6. 地域社会の諸課題に、専門的な視点から主体的にとりくむことができる。 7. 身につけた専門知識や技能を多様な人々が共生する社会の実現のために役立てようとする主体性、責任感、行動力を備える。 8. 自らの考えを、文章や口頭で、多様な人々に対して、論理的・説得的に表現できる。 9. 身につけた専門技能に基づき多		
		ス			様な人々に対して適切な提言を行うことができる。 10. 多様な人々と円滑に交流・協働しつつ、自らの専門性を様々な場面で 連用することにより、地域および現代		
科目区 分	科目名				社会の諸問題の解決を先導できる。		
	日本史学特殊講義 I	-1	©				
	日本史学特殊講義 I	-2	©				
	日本史学特殊講義 Ⅱ -1		©				
	日本史学特殊講義Ⅱ	-2	©		0		
	日本史学特殊講義皿-1		©				
	日本史学特殊講義Ⅲ		0				
	日本史学特殊講義Ⅳ		0				
	日本史学特別演習 I A-1		0	© ©	0		
	日本史学特別演習 I A-2 日本史学特別演習 I B-1		0	©	0		
	日本史学特別演習 I B-2		0	©	0		
	日本史学特別演習 II A-1		0	0	0		
	日本史学特別演習ⅡA-2		0	0	0		
	日本史学特別演習 II B-1		0	©	0		
	日本史学特別演習 II B-2		0	<u> </u>	0		
	日本史学特別演習ⅢA-1 日本史学特別演習ⅢA-2		0	<u> </u>	0		
専門科	日本史学特別演習ⅢB-1		0	©	0		
目	日本史学特別演習Ⅲ		0	©	0		
	東洋史学特殊講義 I -1		0	0	0		
	東洋史学特殊講義 I -2		©	0	0		
	東洋史学特殊講義 Ⅱ -1		0	0			
	東洋史学特殊講義Ⅱ		0	0			
	東洋史学特殊講義II 東洋史学特別演習 I		0	0			
	東洋史学特別演習Ⅰ		0	<u> </u>			
	東洋史学特別演習I		0	©			
	東洋史学特別演習 I	B-2	0	©			
	東洋史学特別演習 II	A-1	0	©	0		
	東洋史学特別演習Ⅱ		0	©	0		
	西洋史学特殊講義 I 西洋史学特殊講義 I		0				
	西洋史学特殊講義 I 西洋史学特別演習 I		© O	©	0		
	西洋史学特別演習I		0	©	0		
	西洋史学特別演習I		0	©	0		
	西洋史学特別演習 I		0	©	0		
	西洋史学特別演習 II	A-1	0	©	0		
	西洋史学特別演習 Ⅱ	A-2	0	©	0		

	ディプロマ・ポリシー				
	Ī		問題に関する専門的・学際的理解	課題の設定と分析・解決法の立案	多様な人々との協働性と応用実践
		学研究科	1. 各領域の高度な専門的知識・能力と幅広い学際的な高度な知識を身につけ、人間と社会に関する問題を深く理解することができる。	2. 人間と社会に関する最先端の諸問題について、自ら課題を発見・設定し、その解決に向けて、自ら仮説を構築し、検証することができる。	3. 地域および現代社会における諸問題について、多様な人々と協働して問題解決にあたる柔軟性を身につけ、新たな価値の創出に向かうことができる。
		社会創成専攻	1. 人間と社会に関する各領域の高度な専門的知識・理論・研究方法と幅広い学際的知見を身につけ、人間と社会に関する問題を深く理解することができる。	2. 人間と社会に関して、主体的に課題を設定し、その解決に向けて、最先端の知にアクセスしつつ必要な情報を収集し、専門的な方法で分析することができる。	3. 地域および現代社会における諸問題について、専門的知識・研究成果を 様々な場面で運用しながら、その解 決策を多様な人々に的確に表現し、 協働しつつ主体的に行動することで、 多様性が尊重される共生社会の創成
科目区分	科目名	人文社会コース	1. 言語・文化・歴史・社会・福祉に関する諸領域の理論および研究方法について、高度な専門的知識を身につけている。 2. 専門知識、および、人間と社会に関する幅広い学際的知見に基づいて、個別の事象を理解することができる。	3. 既存の言説を批判的に検討することによって、独自の研究課題を発見し設定することができる。 4. 人間と社会に関わる諸問題を解決するために、最先端の知にアクセスし、情報を的に、最先端の知にアクセスし、情報を向にに分析し、論理的に結論を導くことができる。 5. 異文化や過去への関心を持ち、自文化を相対化して、新たな価値を創造することができる。	を先導できる。 6. 地域社会の諸課題に、専門的な視点から主体的にとりくむことができる。 7. 身につけた専門知識や技能を多様な人々が共生する社会の実現のために役立てようとする主体性、責任 感 行動力を備える。 8. 自らの考えを、文章や口頭で、多様な人々に対して、論理的・説得的に表現できる。 9. 身につけた専門技能に基づき多様な人々に対して適切な提言を行うとができる。 10. 多様な人々に対して適切な提言を行うとができる。 10. 多様な人々に対して適切な提言を行うとができる。 10. 多様な人なに対して適切な提言を行うとができる。 10. 多様な人なに対して適切な提言を行うとができる。
	,,,,,,				
	記録史料学特殊講義 I 記録史料学特殊講義 I		© ©		0
	アーカイブズ管理論特殊講義 I		©		
	アーカイブズ管理論特殊	講義Ⅱ	©		
	アーカイブズ管理論特殊講義Ⅲ		0		
	アーカイブズ学理論特殊講義Ⅰ		©		
	アーカイブズ学理論特殊	講義Ⅱ	©		
	アーカイブズ学特殊講義		©		
	アーカイブズ学特別演習A		0	©	0
	アーカイブズ学特別演習B		0	©	0
	アーカイブズ学特別実習				0
	資料保存論		©		0
	社会福祉学特殊講義 I		©		
専門科	社会福祉学特殊講義		0		
目	社会福祉学特殊講義	Ш	©		
	社会福祉学特殊講義Ⅳ		©		
	社会福祉学特殊講義Ⅴ		0		
	社会福祉学特殊講義VI		0		
	社会福祉学特別演習 I A			0	0
	社会福祉学特別演習	IВ		0	0
	社会福祉学特別演習ⅡA			0	0
	社会福祉学特別演習ⅡB			0	0
	社会福祉学特別演習ⅢA			0	0
	社会福祉学特別演習ⅢB			0	0
	社会福祉学特別演習ⅣA			0	©
	社会福祉学特別演習ⅣB			0	0
	社会福祉学特別演習VA			0	0
	社会福祉学特別演習VB			0	0
	社会福祉学特別演習VIA			0	0
	社会福祉学特別演習VIB			0	0
研究指 導科目	人文社会演習		0	<u> </u>	©